

2015 大学経営における人事労務研究会

大学経営において学生数の減少は大きな課題ですが、その一方、私立大学経常費補助金は定員数の厳格化方針に伴い、定員超過校には大幅な補助金の減額措置を発表しました。定年延長や非正規雇用の見直し等、社会情勢の変化に伴い、人的資源の有効活用を枠組みから見直す時期ではないでしょうか？

今回の研究会では、今こそ「**内省的な合理化と、発展躍進**」を加速する時期と考え、人事労務の視点から3つのテーマを皆様と共に考えて参りたいと思います。

- 日 時 2015年11月30日(月) ■開場 12:30 開会 13:00 閉会 17:00
- 会 場 スカイホール(文京シビックセンター26F) ■参加費 16,200円/2名まで
最寄り駅: 地下鉄 後楽園駅春日駅直結 JR 水道橋駅 10分 ※顧問校、契約校は無料3名まで
- 主 催 株式会社 プロサーブ 東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5F

大学経営にイノベーションを！ - 更なる発展への提言 -

第1部 基調講演 「学校法人における人材活用の再構築」 13:10-14:10

～ ダイバシティとコスト削減へのアプローチ ～



株式会社 プロサーブ 代表取締役 田中 信雄
特定社会保険労務士、産業カウンセラー

派遣法の改正、短時間労働者の社会保険加入による人件費の増大など、非正規雇用の人員数や業務内容の適性化は、一朝一夕には出来ません。定年延長で職員の定数は増加しますが、従来の処遇の見直しだけでいいのでしょうか？一歩進んで戦略的な制度改革を提案致します。

第2部 講演 「在宅勤務導入・運用における効果と課題」 14:20-15:10

在宅勤務という新しい働き方で解決できる課題はなんのでしょうか？その可能性と、導入効果、課題などを企業事例もご紹介しながらお話し致します。



コンサルタント 川田 理華子
社会保険労務士

第3部 講演 「育児・介護時代を見据えたキャリア職員制度の活用」 15:40-16:40



女性活躍推進法が施行され、学校の雇用環境の変化を踏まえ、2013 研究会で提言した「キャリア教職員」の必要性が増してきました。今回は、育児、介護を前提とした新たな職位の提案と、その具体的な運用を解説します。

シニアコンサルタント 小林 武志
特定社会保険労務士、セクハラ・パワハラ防止コンサルタント

当日個別のご相談を 先着5校まで受け付けます。 □に「レ」をご記入ください。 約15分/校

個別相談 希望 ⇒ 代表田中 講師 () コンサルタント 指定なし

ご相談内容

(株)プロサーブは学校経営を人事・労務の両面から強力にサポートいたします。
首都圏の大学及び中高校の労務顧問として現在約70校の実績を携えております。

(株)プロサーブ 大学研究会事務局
TEL 03-5 5 3 7-6 7 8 0
daigaku@pro-sv.jp

FAX先 03-5537-5281

学校名	TEL		()
	FAX		()
ご出席者	お役職		お役職
	お役職		お役職
ご住所	〒 -		
学生	名	教員	名
		職員	名
事務局 受付No.			-

お振込先 三菱東京UFJ銀行 横浜支店 普通口座4666306 口座名義 株式会社プロサーブ
お振込締切 11月25日(水) ※キャンセル等のご返金受付は11月27日までとなります。
お振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。